

Ⅲ 融雪材散布後の雪割作業による融雪促進

平成 24 年豪雪において、融雪材散布後に現地で実際に取り組みました「雪割作業による融雪促進事例」を紹介します。

1 雪割作業による融雪促進効果

○融雪材の散布後にサブソイラ、プラソイラ、スタブルカルチ、プラウ等で雪割作業を行うと、融雪促進効果をさらに高めることができます。

ア 雪上心破（サブソイラ）は、融雪を1～2日早めます。

イ プラウを用いた畦立融雪は、融雪材散布と組み合わせると融雪効果をさらに高めることができます。

2 プラウによる畦立融雪の効果（平成24年現地事例）

○融雪材散布 : 3月27日

○プラウ畦立処理 : 4月9日



写真1 4月10日（処理直後）ほ場全景
左：プラウ耕区 右：プラウ耕無処理区



写真2 4月19日（処理9日後）ほ場全景
左：プラウ耕区 右：プラウ耕無処理区



写真3 4月23日（処理13日後）ほ場全景
左：プラウ耕区 右：プラウ耕無処理区